

黒島口説 本島Ver

テ115 本調子

1/2

テ115

工さていむ

か

工老四王乙乙四六工老四王乙乙四老合尺工老工老

わらんくるうしまあやしまぬうな

五老七老五老工五尺老工老五老工老工尺上老尺老四老

がありやかないかたいわおく

上尺工五合尺工老五老工老工尺上老四老四老工五四工

とうぶちすぬうちしいち

乙尺合上工尺合上合老四老上老四老四老四上四老四五

いやいやゆたかなるゆぬうし

工老四上四老四老工合五合七合七合七合七合五合工老

るしさみえあみやとうかぐしいかじやしじかにち

尺老工老工老工老尺老上老尺老四老四王乙乙四老四王

くるむずくいまんさくしよていどうなかんとうありしじい

合老四老四老上老四王乙乙四老五合五合五合七合工五

いくふりむらふきやみやざとうばんしゆやどうやどうは

尺老工老工老工尺上老尺老上老四老四王乙乙四老四王

なぬあしびやうたやさんしんとるてんとるうむしるむぬ

合老四老四老四上四王乙乙四王合老四老上老四王乙乙

さみなまぬはやしにくどうちゆみゆみさあつさ

四老四王合老四老四老四尺上老尺老工老工五四王乙乙

四六工六

一、さていむ替らん黒島や 島ぬ流りや
 かない形祝う寿すぬ気色
 豊かなる世ぬ しるしさみえ 雨や
 十日越 風や静かに作る毛作い
 満作しようていどう
 仲本東筋 伊古保利村 保慶や 宮
 里番所宿々 花ぬ遊びや 歌や三線
 ていんとうるていんとうる
 面白むぬさみ 今ぬはやしに
 口説ゆみゆみ サアツサ

二、村ぬ有様見渡しば 天ぬ四宿に形取
 りば 千代も豊かに民遊ぶ
 いやいや昨日の綱引きさみへ
 西ぬ大将 東ぬ大将 皆々揃ゆてい
 足や松本 腕や黒金 ゆしくばゆし
 ゆ
 いーやいやーチャント切りとさ
 負きやん負きやん袖ゆいうすびば
 サアツサ

三、節んたがわん雨露ぬ 恵み深きにこ
 の御代は 老も若きも諸共に
 いやいや弥勒世果報ぬ印さみえ
 我んどさばくい家ぬウヤンチャーが
 どシクぬ干しタクけえ取て
 前ぬ高岳登とて うんぶいかあぶい
 やながみてうかしやんちやさみやが
 マヤーがミヤウミヤウアハー
 ちやんとぬぎたさ今ぬ囃子に口説
 読み読みサアツサ

四、しんとう心は梅桜匂い引かさり袖衣
 花ぬ美童 引き連りてい
 巡て六月今ど走りふるえー豊年の遊
 びや老いて若さん腰や押されて袖や
 引き連れ いそいそ浜下り
 錦交じりの花の雲山 匂ふくふく
 さんさん いやわしたさばくい
 船の大将 楫取り囃しホーホー
 招く扇や舟子勇みて あれあれ
 漕ぐ舟見ちやりば さてさて
 面白ものさみ
 サアツサ

五、眺む心は有明ぬ月に思いぞ照り勝る
 誠浮世ぬ しるしさみ
 黒島みどんの昨夜の浜下りさみえ
 浜蟹取らんで足や高足横足つかとて
 あれあれアダンのみいから大爪うち
 ふいふいアギゼイザヘイアブヘイ
 サアツサ